

令和3年度北海道大学法学部
第3年次編入学試験「専門科目試験問題紙」

14:50～16:50

解 答 上 の 注 意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはいけません。
2. 問題紙は2ページです。(表紙を除く)
3. 解答用紙は両面2枚です。
4. 受験番号(上下2箇所)は、監督者の指示に従って、すべて解答用紙の指定された箇所に必ず記入しなさい。
5. 解答はすべて、解答用紙の指定された欄に横書きで記入しなさい。

問題 1

以下の各問いにすべて答えなさい。

問 1 民法における無効と取消しについて、両者を比較しつつ、説明しなさい。(30 点)

問 2 A 温泉は、鉄道事業者である Y が、自己の経営する鉄道の終着駅のある溪谷において経営する温泉である。A 温泉の湯は、引湯管（以下「本件引湯管」という）によって別の温泉から引かれていた。本件引湯管は、Y が山中に約 7.5km にわたり敷設したものであるが、途中、B 所有の山中の急傾斜地 112 坪（以下「本件土地」という）の一部（2 坪ほどの部分）をかすめていた。X は、このことを知り、B から本件土地を買い受け、Y に対し、本件引湯管を撤去するか、本件土地とその周辺の荒れ地を合わせた約 3000 坪の土地を 3 億円で買い取るように要求した。Y が X の要求を拒否すると、X は、Y に対し、本件土地の所有権に基づく妨害排除請求として、本件引湯管の撤去を求める訴訟を提起した。X の訴えは認められるか。

なお、本件引湯管を迂回させるための工事には 1 億 8000 万円の費用、9 か月の期間を要し、工事後の湯温は著しく低下する見込みである。上記の工事期間中、A 温泉は営業を中断せざるを得ず、A 温泉に依存する A 集落（人口 700 人～800 人）は経済的に打撃を被り、Y の本業である鉄道事業も減収ひいては継続不能となるおそれがある。本件土地のある溪谷の山林の取引価格の相場は、位置や状況により異なるが、1 坪あたり 1000 円前後である。

(20 点)

問題2

以下の各問いにすべて答えなさい。

問1 戦前のわが国において、「立憲的専制」や「立憲的独裁」といった政治の方向性がそれぞれ否定・肯定の文脈で語られていたように、立憲主義と民主主義が両立するかは必ずしも自明ではない。立憲が過ぎれば専門家支配に、民主が過ぎれば大衆支配に、つながりかねないからである。では、両者の望ましい関係性としてどのようなあり方が考えられるか、具体的な政治体制の例を複数挙げつつ、論じなさい。 (30点)

問2 以下の(ア)～(ウ)より、2つの事項を選択し、それぞれ説明しなさい。
(各10点)

- (ア) 社会的亀裂 (クリーヴィッジ)
- (イ) アナーキズム
- (ウ) 確証バイアス